



仙台市議会  
市政活動報告  
民主フォーラム仙台

仙台市議会議員  
(太白区)

貞宗けんじ

令和2年第1回定例会では、令和2年度当初予算案や条例案等63件の議案が提出・可決されました。会派の代表質疑では未来の仙台市が目指すべきまちづくりの基本的な指針となる新総合計画やガス事業民営化等について質疑がありました。私は一般質問に加え、仙台市の当初予算1兆円超の使い道を審査する予算等審査特別委員会に登壇し、質問させていただきました。新型コロナウイルス感染症については終息の目途が立たず、未曾有の危機となっておりますが、市民・事業者の方々への支援策等、しっかりと知恵を絞り議論して参ります。ご意見等ございましたら、裏面の市政広聴シートよりお寄せください。

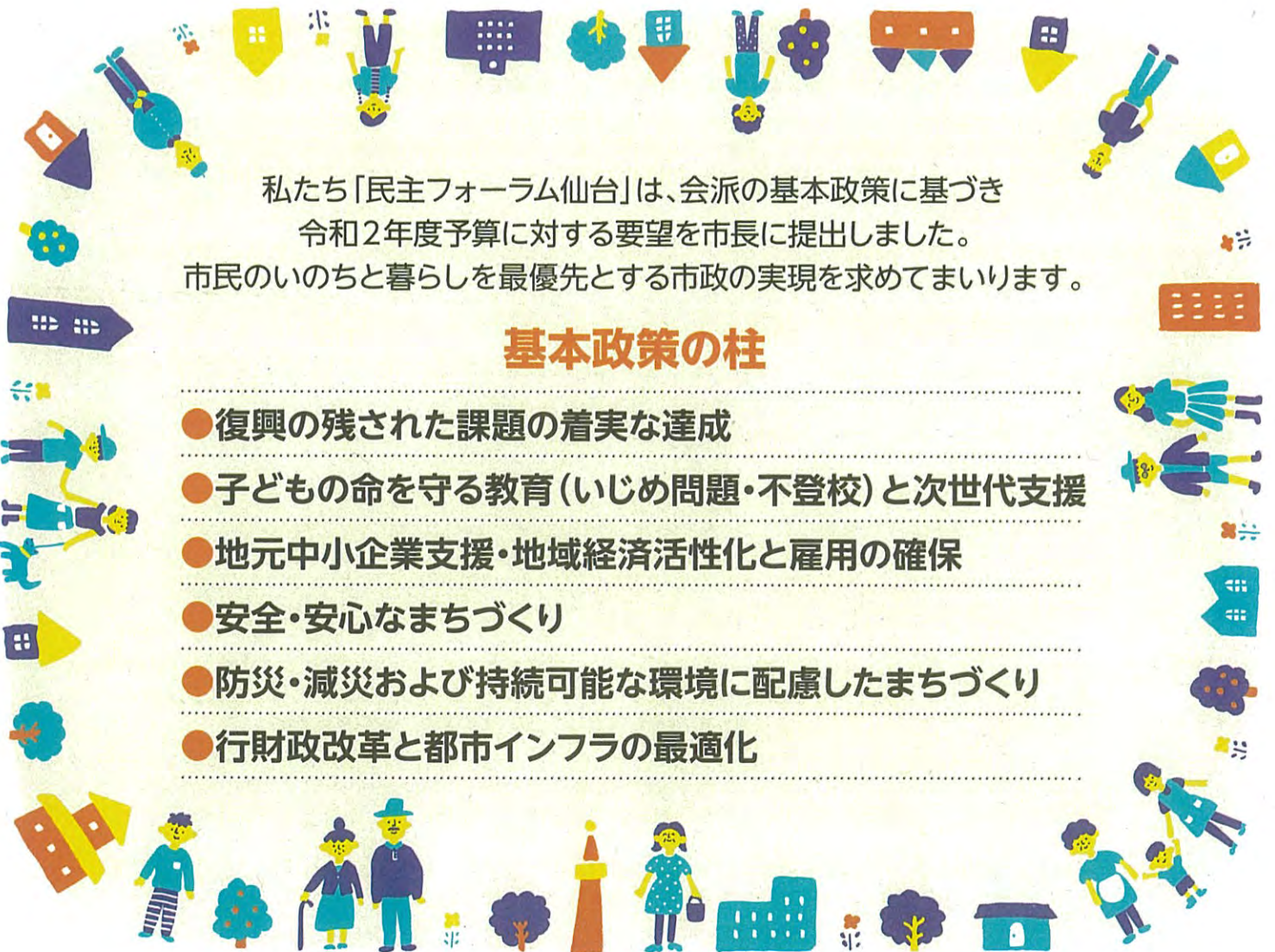
貞宗けんじプロフィール

- 1986年5月生まれ(34歳)
- 2019年仙台市議会議員選挙当選(1期目)

私たち「民主フォーラム仙台」は、会派の基本政策に基づき令和2年度予算に対する要望を市長に提出しました。市民のいのちと暮らしを最優先とする市政の実現を求めてまいります。

基本政策の柱

- 復興の残された課題の着実な達成
- 子どもの命を守る教育(いじめ問題・不登校)と次世代支援
- 地元中小企業支援・地域経済活性化と雇用の確保
- 安全・安心なまちづくり
- 防災・減災および持続可能な環境に配慮したまちづくり
- 行財政改革と都市インフラの最適化



# 仙台市議会にて登壇しました!

一般質問

## その1 | コミュニティ・スクールについて



### コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会制度を導入した学校のこと、保護者や地域住民が一定の権限をもって運営に参画する公立学校のこと。平成29年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、全ての公立学校がコミュニティ・スクールになることを目指し、学校運営協議会の設置が努力義務化されています。

#### 主な3つの機能

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ②学校運営について教育委員会または校長に意見を述べるができる
- ③教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について教育委員会に意見をのべるができる

Q

貞宗:本市教育委員会はコミュニティ・スクールにどのような役割を期待するのか。

教育長

目指すべき教育のビジョンを学校と地域で共有する。その上で子どもや学校が抱える課題解決と一緒に考えることで、地域とともに歩む学校づくりが進み、いじめや不登校の問題も含め、改善につながることを期待する。

貞宗:学校現場の多忙化は、既に飽和状態に達している。文科省委託の研究結果のアンケートによると、コミュニティ・スクール導入後に最も課題だと感じていることは「管理職や教職員の負担が増えた」という項目だが、飽和状態の中に更なる負担増は現場の教職員には相当厳しい。負担を最低限に抑えるための方策の検討はされているのか。また、例えば若手や一部の教職員だけが負担するようにならないような仕組みが必要。勤務時間として扱う検討が必要ではないか。

教育長

コミュニティ・スクールは仙台市がこれまで取り組んできた学校評議員制度や学校関係者評価などの機能を包括的に行うもので、教職員の負担軽減につながるものと認識している。負担については特定の教職員だけが担うことにならないように校長が適切な勤務管理を行うことが重要なので、必要な情報提供や支援を行っていく。

貞宗:「教職員の任用に関して意見を述べるができる」については、権限の濫用が起きないか疑問が残る。学校運営の責任者は校長にあるとしているが、「特定の個人の任用に関する意見はできない」等と明確に要綱に反映されるべきと考えるがいかがか。

教育長

教職員の任用に関する意見申し出の対象となる事項は、教育委員会規則で定めることとされており、文科省の考え方を踏まえ、適切に対応してまいりたい。

一般質問

## その2 | 男性の育児休業について



Q

貞宗:内閣府男女共同参画局の報告書によると、男性の育児参画は結果として全ての女性が輝く社会の実現に寄与する。また、女性の負担が軽くなることで、子どもを産み育てようというマインドが広がり、喫緊の課題である少子化対策の面からも重要な意味を持つとある。男性の育児休業取得を義務化している企業もある中、仙台市役所の15%という取得率は高くないと感じるが市長はどう評価しているか。

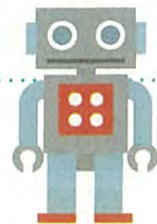
郡市長

男性が育児と家事を主体的に行うことは重要で大きな意義があると考えている。これまでも制度の周知や所属長への働きかけ等、取得しやすい環境づくりに努めてきて取得率は向上したが、更なる促進の必要がある。次期子育て推進プログラムにおいて、より高い目標値を設定して取組みを進めていく所存である。

貞宗:男性が育児休業を取得しなかった理由で「業務が繁忙で職場の人出が不足」「取得しづらい雰囲気だった」がある。他市では育休の代役で正規職員を採用する制度を開始と、先進的な取り組みがある。本市でも取り組むべきでは。

総務局長

代替職員の配置は育児休業の業務負担軽減と取得の促進につながると考える。職場の状況に合わせた代替配置を適切に行い、職員が安心して育児休業を取得できるよう努めてまいる。



## RPAとは

Robotic Process Automation /ロボティック・プロセス・オートメーションの略語。定型業務等をソフトウェア型のロボットが設定されたシナリオに沿って自動的に働いてくれる仕組みのこと。

Q

**貞宗:** RPA利活用推進に関する予算は令和元年度に比べ、約3倍となっている。平成30年度からの実証実験で効果があったための本格導入ということだが、説明願う。

まちづくり  
政策局課長

従来、職員が手作業していた定型業務をRPAで自動化した。9課15業務で作業時間が平均で6割削減する効果が確認された。また、ロボットが作業をするので、事務ミスが減り、他の作業への業務時間を生み出した。

**貞宗:** 私は前職で、先進的にRPAを推進する立場だった。非常に有用なツールだが「時間の削減」がゴールになってはいけない。推進する側は「削減できた時間で職員が何をするか」のマネジメントをすることが重要。これができないとかえって職員の生産性が下がる危険性がある。RPAの評価項目に「削減できた時間のマネジメント」を盛り込むべきかどうか。

まちづくり  
政策局課長

削減できた時間を市民サービス向上につなげることを目指す。まずは職員の超過勤務時間を減らすように取り組んでいく。評価項目についての詳細は今後検討を進めていく。

**貞宗:** ロボットを動かすシナリオ作成は全て外注するのではなく、本市職員でも自前で作成できるようにするべき。そうすることで、スピード感あるRPA利活用の推進・定着が実現できる。各部署に有スキル者の配置・育成をしてはいかかが。

まちづくり  
政策局課長

職員向けのRPAセミナーでは予定を超える応募があった。今後、様々な研修を通じ、関係部署の職員の意識やスキル向上、人材の育成に努めていく。

**貞宗:** シナリオの検討段階で行う「業務の棚卸し」をする際に、今までの無駄に気づき、改善が生まれる事もある。RPAを利用するという行為そのものが郡市長の目指す「市役所経営への挑戦」になる。RPAやAIという言葉だけが踊らないように市長以下、各管理職が実際に触れて推進して欲しい。

まちづくり  
政策局課長

今後人口減少が進み、求められる行政サービスがより高度化・複雑化していく。限られた職員で行政サービスの質を維持できるよう、効率が必要。RPAを含めてICTは強力なツールなので、各局と連携して積極的に取り組んでいく所存。



## GIGAスクールとは

Global and Innovation Gateway for Allの略語。児童生徒1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークの整備により、個別最適化された教育ICT環境を実現させる構想のこと。

Q

**貞宗:** 各市立学校にタブレットを配備し、使用するためのネットワーク整備が行われるが、令和元年度補正予算にも文部科学省が提唱するGIGAスクール構想の実現への予算も計上されている。ICTの世界は目まぐるしく変化するので、無駄にならないように先を見据えてほしい。本市教育局では校内LAN、LTE通信どちらを活用するのか、また、持ち帰り学習を想定しているのか伺う。

教育局課長

端末価格、ランニングコストを考慮し、校内LANを用いたWi-Fi通信による環境整備を進めていく。生徒の自宅での通信環境や、セキュリティ・紛失・破損等の課題があることから、現在は持ち帰り学習は想定していない。

**貞宗:** GIGAスクール構想は子どもたちにとって、ICT環境の自治体間の格差を無くしてスタンダードな全国一律のICT環境整備が目的である。他都市では場所を選ばないLTE通信を採用し、持ち帰り学習を既に行っている都市もある。この差はどう捉えているのか。

教育局課長

さらに効果的な通信環境を見据えて、他都市の情報を収集し、取組み事例を参考にしながら進めてまいりたい。

Q

貞宗：子どものICTスキルは大人の創造をはるかに超える速度で伸びていく。子どものためにも学習する環境の格差がでないようにしていただきたいと改めて求める。学校休校期間中、リモートで学習している子どもとそうでない子どもで学力の差が生じてしまう。自宅にインターネットがない家庭向けに少数でもLTE対応のタブレット整備の対応はしていただけないものか。また、先生たちのICT活用スキルも今後重要な問題になっていくが教育長に今後の展望を伺う。

教育局長

ICTを活用した学びは今後の学習指導要領上求められているので、実現できるように先生方の研修を含めながら取り組んでいく。自宅でのリモート学習は時代的にも求められていることは存じているが、家庭での通信環境の問題、セキュリティの問題等様々な課題を一つ一つクリアして進めていかなければならないと考えている。技術革新あるいは企業の情報を十分獲得しながらICT利活用に努めていく。

お困り事や課題をお聞かせ下さい

市政広聴シート

お名前

〒      -  
ご住所

電話番号      -      -

お困り事

いただいた情報をもとに調査し、  
地域の問題解決に生かしてまいります。

**FAX 022-796-0016**

お問い合わせ先

仙台市議会議員 貞宗けんじ事務所

〒982-0011 仙台市太白区長町3丁目8-32

TEL : 022-796-0015 FAX : 022-796-0016

MAIL : kenji.sadamune@gmail.com